

- 1 目的 不審者が侵入した際、速やかに子どもの安全を確保し、事件や事故を未然に防ぐ。
 - 2 日時 令和5(2023)年8月26日(土) 11時20分～45分
 - 3 想定 銃を持った者が学校敷地内(駐車場下段)に侵入。それにオフィサーが気づき、コードレッド発令
 - 4 役割分担 本部(校長・事務局)、園児児童生徒指導(教職員)、園児児童生徒避難誘導(パトロール当番、教職員)、不審者対応・緊急連絡(オフィサー)、危機管理担当として訓練の巡回(校長、安全担当運営委員)
 - 5 訓練内容 指導:朝の会にて、児童生徒に訓練の目的・避難行動をクラス担任が指導する。
 - ・コードレッドの緊急連絡(トランシーバー)があった場合は、次の行動をとる。
 - ①外(主に中庭)にいる園児児童生徒を校舎に避難させる。(パトロール当番、外に居合わせた教員)
 - ←担任は自分の教室に戻る。
 - ②廊下にいる園児・児童・生徒・保護者を教室(クラス関係なく身近な教室に)に入れ、ドアを閉めて施錠、窓を覆う。(担任)。ドア・窓を閉め、施錠する。外からたたかれても決して開けない。
トイレの確認と誘導 中2-1向かい→上西先生 事務局隣→事務局 ゆり組向かい→パト当番
 - ③園児児童生徒をドア(窓)から離れた位置で待機させる。いっさい声も音も立てない。
 - ④室内消灯。クラス札もはずす。※日頃からスイッチ場所を確認しておき、すぐに対応できるように。
 - ⑤ブラインドがあれば、閉めて見えなくする。
 - ⑥カフェテリア・メディアセンターは、事務局が対応。校舎内パトロール当番は、外の子供が避難できたら、正面玄関ロック(責任者=パトロールリーダー)して最寄りの教室避難。校舎内のパトロール当番は100棟、300棟の非常口を確認し、廊下に取り残されている子供たちを誘導しながら、近くの教室に避難。体育館の当番は付近の子供を体育館に收容して施錠・避難。
 - ⑦緊急事態解除放送があったら、教室にいない子供はそれぞれの教室に戻る。
 - ⑧担任は教室で点呼を取り全員いることを確認する。
 - ⑨担任は学年主任に点呼の状態を口頭で報告。(○年△組登校数X名。全員います)学年主任は事務局に点呼の状態を報告し(Y学年全員います)「安否確認票」を渡す。(低→校長 中→ライル 高→ハンプトン 中・高→藤沢)事務局は各学年教室近くで待機。混線防止のためトランシーバーは使わない)
 - 6 流れ
 - (1)緊急事態報告
 - ・オフィサー(トランシーバー)「訓練、訓練。銃を携帯した不審者が駐車場に侵入。コードレッドを発令します。」外にいる教員や子供たちにも伝える。
 - ・事務局「了解。訓練、訓練。不審者が学校敷地内に侵入。速やかにコードレッド対応をせよ。」トランシーバーで連絡。校内放送は使わない。
 - (2)コードレッド実施(教職員・パトロール当番)
 - コードレッドを実施し、①～⑨の行動をとる。
 - ※保護者等含め全員が教室に移動・待機。※校長・運営委員長は状況把握のため巡回
 - (3)コードレッド解除
 - オフィサー「不審者は取り押さえられました。コードレッド解除します。」
 - 事務局「訓練、訓練。コードレッド解除です。自分の教室にいない人はもどりましょう。担任の先生は点呼を取って学年主任に報告。学年主任は近くにいる事務局職員に報告してください」
 - ※トランシーバーで連絡。
 - (4)担任は教室で点呼を取り、学年主任に報告(学年主任は5⑨のように報告する)
- まとめ すべての点呼が終了したら、事務局は校長に報告。校長は訓練終了の放送を行う。安全担当運営委員は反省用紙に記入。安全パトロール当番は日誌に様子を記入。
- *オフィサーは終会で講評。教職員は終会で次年度に向け成果と課題を反省用紙に記入する。